

平成28年度エネルギー講演会

「みんなで考えよう!! 明日のエネルギーと原子力」

九州経済連合会と日本原子力学会九州支部は、皆さま方の関心の高い日本のエネルギー問題や原子力発電の必要性について理解を深めていただくための講演会を企画しました。

同分野でご活躍のお二人にわかりやすく講演をしていただきます。是非ご参加ください。

と き: 平成28年10月11日(火) 13時30分開会(13時開場)

ところ: 電気ビル共創館カンファレンス A大会議室(福岡市中央区渡辺通2丁目1-82)

入場料: “無料”



第1部 13:40~15:10

【講師】山本 隆三氏 常葉大学 経営学部 経営学科 教授、国際環境経済研究所 所長

【テーマ】日本のエネルギーミックスを考えるー地球温暖化問題の視点から

【講演要旨】

エネルギーミックスを通して「3E+S」(安全保障、経済性、環境性能、安全性)の問題や、その中から見えてくる「4A」[「エネルギー資源が利用可能なこと(Availability)」、「資源獲得に地理的な問題、インフラ、資金手当てなどの障害がないこと(Accessibility)」、「環境上受け入れ可能なこと(Acceptability)」、「エネルギー価格、開発への投資額が受け入れ可能なこと(Affordability)」]について紹介します。更に、COP21以降の温暖化の取り組みの情勢や課題、また今年11月中旬に行われるCOP22(モロッコ)へのアプローチ状況についても言及し、2030年のエネルギーミックス実現のための「エネルギー・環境政策」を踏まえた私たちの暮らしについて解説します。

また、電力自由化のメリット・デメリットや再生可能エネルギーの課題などについても説明します。



第2部 15:25~16:55

【講師】鈴木 國弘氏 一般財団法人高度情報科学技術研究機構 神戸センター広報部長

【テーマ】最新の研究から見えてくる今後のエネルギー

【講演要旨】

エネルギー分野全体における最新の研究成果ならびにその開発状況等を紹介いたします。特に、日本原子力研究開発機構(JAEA)がJ-PARCで行っている最新の研究開発について紹介。ニュートリノ研究での振動実験や核種変換などから、国際的にも評価が高く日本のステータスを高めることに貢献している「核セキュリティ」研究に至るまで、原子力関連の研究開発を中心に解説します。

また、J-PARCでは、ニュートリノ研究以外にも中性子を利用した研究も盛んに行われており、核廃棄物の処理処分研究やリチウムイオン電池などのエネルギー研究にも繋がっています。こちらの研究開発についても併せて紹介します。

◆主催 / (一社)九州経済連合会、(一社)日本原子力学会九州支部
◆後援 / 福岡県教育委員会

お問い合わせ先

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号 電気ビル共創館6階

(一社)九州経済連合会「エネルギー講演会」係

TEL: 092-714-2318 FAX: 092-714-2678



<http://www.q-enecon.org/koen/form.php>